

## 【修士・専門職】 【内部選考】

推薦人数は〇人以内は他の課程との合計人数、〇人は修士・専門職のみでの人数です。

(公)：公益財団法人 (一)：一般財団法人 卓越：国際卓越大学院教育プログラム(WINGS)による卓越RA、奨励金受給者

奨学会名	支給月額	研究科等・学年・推薦人数	他奨学会との併給	主な出願条件	応募締切
(公)古河記念基金	給付 3万円 (自宅外 3万5千円)	総合文化、理学系、工学系 農学系(獣医学を除く) 薬学系、新領域創成科学研究科 学際情報学府 学年不問 1人	可	金属その他資源関係を学んでいること。 2022年の世帯年収が900万円以下であること。※年金収入および兄弟の収入は含みません。 学業および人物とも優秀かつ健康であり、標準修業年限での修了が見込めること。	2023/3/16
(公)日本証券奨学財団	給付 4万5千円 (自宅外 5万5千円)	研究科不問 1年生 ※法曹養成専攻既習2年を含む 2人以内	不可 ※日本学生支援機構の貸与奨学金と 授業料免除は可 ※それ以外は併願も不可	将来、社会の各分野において指導的役割を担う志のある資質優秀な者。 2023年4月1日時点で25歳以下であること。 他の奨学金(日本学生支援機構の貸与奨学金と授業料免除を除く)について、 受給または応募をしておらず、その予定もないこと。 5月11日に都内で行われる財団の面接選考に必ず出席できること。	2023/3/20
(公)浦上奨学会	給付 4万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 1人	不可 ※貸与奨学金と海外留学のための奨学金、 授業料免除は可	広島県出身であること。 2023年4月入学者で、学業、人物とも優秀、心身ともに健康なもの。 日本学生支援機構の第一種奨学金の家計基準を目安とします。	2023/3/24
(公)フジシール財団	給付 6万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 1人	不可 ※貸与奨学金と海外留学のための奨学金、 授業料免除は可	パッケージに関連するあらゆる分野を専攻していること。(以下のURLをご参照ください。) <a href="https://www.fujiseal.or.jp/business/scholarship.html">https://www.fujiseal.or.jp/business/scholarship.html</a> 商品パッケージの研究開発に興味・関心のある者。	2023/3/24
(公)住友電工グループ社会貢献基金	給付 3万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 1人	可 ※ただし月額給付奨学金総額が10万円以下 であること。	理工系を専攻している者。 5,6月に行われる予定の財団の面接に出席できる者。	2023/3/31
(公)尚志社	給付 給付 4万円 (自宅外生 6万円)	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 2人以内	不可 ※日本学生支援機構の貸与奨学金は可	2023年4月1日時点で30歳未満であること。 所属する学部・学科等における成績が上位10%以内であること。 日本学生支援機構の第一種奨学金の家計基準を満たすことが望ましい。(必須ではありません。) 6月17日に行われる財団の面接選考会に必ず参加できること。 4月24日までに健康診断結果証明書の提出ができること。	2023/3/31
(公)戸部眞紀財団	給付 5万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 2人以内	可 ※他の給付奨学金を受給する場合、 支給金額が半額になる可能性があります。	2023年4月1日現在で30歳以下の者で修了が2025年3月以降であること。 化学、食品科学、芸術学/デザイン学、体育学/スポーツ科学、経営学を学んでいる者。 向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正である者。 8月27日に1泊2日または2泊3日で開催予定の奨学生交流会に必ず参加できる者。	2023/3/31
(公)新日本奨学会	給付 6万円	理学系、工学系、農学生命科学、数理学 新領域創成科学研究科、情報理工学研究科 学際情報学府 修士1年 6人	可	学業成績、人物とも優秀かつ健康な者。 学業の継続において学資の支弁が困難な者。 5月20日に実施予定の財団による面接に必ず出席できる者。 ※年度によって募集する研究科等は少々異なります。	2023/3/31
佐藤奨学会	給付 3万5千円	研究科・学年不問 1人	可	学業、人物とも優秀で、かつ健康であり、学資の支弁が困難と認められる者 学部の成績において優と優上の単位数が全体の4割以上であること。 薬学部・薬学系研究科の学生は、 薬学部固有の奨学金として募集していますのでそちらにご応募ください。	2023/4/3
(公)中山報恩会	給付貸与混合 5万円 (給付3万5千円と 貸与1万5千円)	研究科不問 1年 ※法曹養成専攻既習2年を含む 5人	民間奨学金は不可 ※日本学生支援機構の奨学金、 地方公共団体の奨学金、 授業料免除は併給可	25歳以下であること。 生計維持者の収入が1,000万円以下であること。 5月下旬から6月上旬の財団の面接選考(都内)に参加できること。	2023/4/3

オーディオテクニカ	給付 2万円	研究科・学年不問 1人	可	健康でかつ学業の成績が優秀な者 経済的理由により学費の支弁が困難な者 理工系の分野を専攻していること 5月30日に文京区内で行われる予定の面接に参加できること。	2023/4/3
(公)安藤スポーツ・食文化振興財団	給付 年100万円	研究科・学年不問 5人以内	可	食科学に関連する研究を行う者。 留学予定者は不可。	2023/4/10
(公)旭硝子財団	給付 10万円	研究科不問(医学系を除く) 修士1年(専門職を除く) 人文・社会科学系で1人 自然科学系で1人	可 ※ただし他機関の月12万円以上の 給付奨学金等との併給不可 ※卓越は不可。	持続可能な社会の実現に向けて取り組む意欲が高い者。 品行方正、学術に優れ、健康であり、学費の支援が必要と認められる者。 独自の発想に基づき、社会に有用で波及効果も高い研究テーマに意欲的に取り組む者。 社会人学生は不可。 2023年7月20日に開催予定の奨学金授与式に必ず参加すること。	2023/4/14
(公)エフテック奨学財団	給付 3万円	研究科不問 1年 ※法曹養成専攻既習2年を含む 1人	不可 ※貸与奨学金と授業料免除を除く ※年間の授業料から36万円を引いた金額 までであれば併給・併願可	2023年4月1日において25歳以下であること。 将来、社会に貢献できる有用な活動を目指す者。 奨学金を自分の将来の成長のために有用に活用できる者。 6月下旬に実施予定の財団による面接に必ず出席できる者。	2023/4/14
(公)アイザワ記念育英財団	給付 4万5千円	研究科不問 修士1.2年(専門職を除く) 1人以内	不可 ※貸与奨学金と授業料免除は可	将来、産業・文化両面において社会に貢献しようとする者。 10月7日の財団の式典に出席できる者。 留学中または留学を予定している場合は不可 現住所と住民票住所が異なる場合は賃貸契約書等により現住所を証明できること。	2023/4/14
(一)野間文化財団	給付 4万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 2人	可	人物高潔、志操堅固、学業成績優秀、身体強健で、家庭の資力に乏しい者。 6月5日または6日に実施される財団の面接選考に出席できる者。 修士課程において留学の予定がある者は不可。	2023/4/14
ウシオ財団	給付 12万円	研究科・学年不問 3人	可	品行方正、学業優秀でありながら、学費の支弁が困難な者 健康で、向学心にともみ、行動が学生にふさわしく、将来良識ある社会人として活動できる見込みがある者 生計維持者の世帯合計年収が800万円未満であること。 学部の成績において優上と優の単位数が4割以上であること。	2023/4/14
(公)春秋育英会	給付 3万円	研究科不問 修士1.2年生(専門職を除く) 1人	可	修士学生は修了予定時の年齢が30歳以下であること。 生計維持者の世帯収入が800万円以下であること。 日本在住の連帯保証人(原則として父または母)の署名押印を得られる者。 心身健全、学力優秀であり、経済的理由により修学困難である者。	2023/4/18
(公)三菱UFJ信託奨学財団	給付 5万5千円	法学政治学、経済学、理学系、 工学系、農学生命科学、 新領域創成科学、情報理工学系研究科 学際情報学府、公共政策学教育部 修士1年生 3人	可 ※他の奨学金と併給する場合は届け出ること。	2023年4月1日現在、33歳以下である者。 父母の合計年収800万円未満であること。 ただし就学中の兄弟姉妹が3人以上の場合、合計年収1,000万円未満であること。 財団主催行事(財団職員との個別面談や交流会等)への出席を優先できる者。 将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者。またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者。 採用後、三菱UFJ信託銀行(本店)に本人が普通預金口座を開設できること。 社会人学生は不可。	2023/4/20
ライフシフト	給付 6万円	修士1年生 ※法曹養成専攻既習2年を含む 1人	可	2023年4月1日時点で45歳以下であること。 給与収入世帯の場合、世帯合計年収1,000万円未満。 上記以外の場合、自営業などその他収入500万円未満 社会人としての就労経験が通算3年以上ある者 博士課程への進学まで見据えて真剣に研究に取り組む者が望ましい。	2023/4/25

(公)同盟育成会古野奨学金	給付 6万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 2人以内	可	ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指し勉学に励んでいる者。 優と優上の単位数が50%以上であること。 志操堅固、健康優良で、学費の援助が必要と認められる者。	2023/4/25
川本・森奨学財団	給付 3万円	研究科・学年不問 2人	可	学業優秀、品行方正であること。 経済的理由により、学費の支弁が困難であること。 財団が主催する行事に出席できること。 例年、奨学生研修会が11月~2月に2回開催されています。	2023/4/25
公益信託 岩井久雄記念東京奨学育英基金	給付 12万円	総合文化(理工系に限る)、理学系、工学系、 農学生命科学(生命科学分野)、数理学系、 新領域創成科学、情報理工学系研究科 学際情報学府(理工学系に限る) 修士1年 1人	不可 ※貸与奨学金と授業料免除は可 ※卓越は可	理工学分野で学ぶ者。 将来は日本の指導者の一員として国の発展の為に尽くそうとの志を持つ者。	2023/4/25
(公)中村積善会	給付 5万円	研究科・学年不問 1人以内	可	日本学生支援機構の第一種奨学金の家計基準を満たすこと。 自主的な向学心に富み、勉学や生活全般を通じて態度、行動が良好で、 国家社会に貢献し得る素質の見込みがある者。	2023/4/25
(公)日揮・実吉奨学会	給付 年額40万円	総合文化(理工系に限る)、理学系、工学系、 農学生命科学(生命科学分野)、医学系、 薬学系、数理学系、新領域創成科学、 情報理工学系研究科 学際情報学府(理工系に限る) 学年不問 6人以内	可 ※ただし卓越は不可	2023年4月1日時点で30歳未満であること。 理工学専攻に所属していること。 人物・学力ともに優れ、健康であり、経済的に奨学金が必要である者。 一度でも日揮・実吉奨学会から奨学金を受給したことがある者は申請不可。	2023/5/12
(公)川村育英会	給付 6万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 1人	可	化学系(化学、応用化学、化学工学など)、生命科学、生命工学、 機械、電気電子工学系を専攻している者。 学部の成績における優と優上の単位数が50%以上であること。 父母および生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入を除く)が500万円以内であること。 採用された場合、8月26日に都内で行われる財団の授与式に必ず参加できる者。	2023/5/12
(公)Sky大浦ICT奨学財団	給付 年額100万円	研究科・学年不問 2人	可	2023年4月1日時点で30歳以下であること。 本人と生計維持者の合計収入金額が800万円以下であること。 ICT技術の分野に就業することを志す者。 学業・人物ともに優秀であると認められる者。	2023/5/26
(公)岩垂奨学会	給付 年額55万円	理学系、工学系、医学系、薬学系研究科 総合文化、数理学系、新領域創成科学、 情報理工学系研究科、学際情報学府 学年不問 理学系、工学系で6人以内ずつ 医学系、薬学系で3人以内ずつ	可	研究分野が理学系、工学系、医学系、薬学系に該当すること。 学部時代のGPAが2.3以上であること。 健康、志操堅固で学費支弁の困難な者。 修士・専門職課程で1回、博士課程で1回まで受給可能です。 例年11月に行われる研究交流会に必ず参加できる者。	2023/5/26
(公)鴻池奨学財団	給付 2万4千円	研究科・学年不問 1人以内	可	学力優秀、志操堅固、身体健康で学費支弁の困難な者。 内部選考に通過した場合、6月26日までに健康診断結果証明書を提出できる者。 採用となった場合に、10日以内に連帯保証人と連署した誓約書を提出できる者。 7月中旬の面接に必ず出席できる者。	2023/6/5